

栄公園振興株式会社  
経営戦略計画

2022年4月～2027年3月

# 1 はじめに

## (1) 沿革

栄公園振興株式会社（以下「当社」という。）は、新たな魅力・賑わいの創出と交通利便性の向上により都心のシンボルゾーンを形成するため、栄公園地区の広場ゾーン（オアシス21）における公園の便益施設である店舗の建設及び店舗・公園・バスターミナルの管理を一体的に行う事業主体として、1994（平成6）年9月に、名古屋市と地元経済界との共同出資によって設立されました。

2002（平成14）年10月のオアシス21の開業以来、当社は、幅広い年代の方々に親しんでいただける魅力ある店舗を常に揃え、音楽・スポーツ・娯楽などの多彩なイベントを企画・運営し、また、安心・安全にご利用いただける施設として質の高い管理をすることで、魅力ある都市空間づくりや都心の活性化に寄与してきました。

2022（令和4）年には開業20周年を迎え、引き続き当社はオアシス21の管理運営を通じて名古屋の都心の活性化になくてはならない役割を担っていきます。

## (2) 事業概要

### ア 施設の管理

名古屋市から指定管理者の指定を受け、公園施設及び名古屋市栄バスターミナルについて、当社所有の店舗と一体的な管理運営を行っています。

### イ 店舗の管理運営

銀河の広場に面した全30区画において、物販・飲食・サービスの魅力ある店舗を展開しています。

### ウ イベントの企画・運営

銀河の広場において、施設の特徴を最大限に活かした音楽・スポーツ・娯楽などのイベントの企画・開催や、イベント会場の貸し出しを行うことにより、都心の賑わいの創出を図っています。

### エ 地域連携の推進

近隣施設と一体となったイベントの開催や地域団体と連携した活動により栄地区のまちづくりを推進しています。

## 2 経営戦略計画の策定

### (1) 策定の趣旨

当社は、2011（平成23）年度から三次にわたり経営戦略計画を策定し、様々な経営課題の解決に取り組んできました。

引き続き、新型コロナウイルス感染症への対応、SDGsの達成に向けた取り組み、リニア開業を見据えたまちづくりなど社会経済情勢の変化を踏まえると、継続的に戦略性をもった経営が求められており、より一層の経営基盤の強化・安定を図るとともに着実に事業を推進していくため、新たな経営戦略計画を策定するものです。

### (2) 計画期間

2022（令和4）年度から2026（令和8）年度まで

## 3 現状と課題

(1) オアシス21の年間来場者数は、2019（令和元）年度に1,500万人超を数えたものの、2020（令和2）年度には新型コロナウイルス感染症の影響による店舗の休業・営業時間短縮、イベントの自粛などが重なったため900万人まで減少しています。

今後多くの方に来場していただくためには、安心・安全な施設環境を確保したうえで、魅力ある店舗の展開、人をひきつけるイベントの開催などを行う必要があります。

(2) 開業20年を経て、施設（特に設備面）が劣化してきており、今後維持管理経費の増加が予想されます。

計画修繕の着実な実行及び環境に配慮した施設管理が必要です。

(3) 久屋大通公園の整備や民間再開発などにより、名古屋市の「栄地区グランドビジョン」の具現化が進みつつあります。

栄地区の魅力あるまちづくりの推進には、同ビジョンが示す界隈性の充実が求められており、近隣施設及び地域団体との連携の強化が必要です。

(4) 2022（令和4）年3月現在、店舗の入居率は100%（手続中含む）ではあるものの、コロナ禍や周辺での新たな商業施設の開業などにより厳しい経営環境が続いています。

2027（令和9）年を目途に予定されている大規模リニューアルに備えて、経営の健全化及び適切な資金計画の策定が必要です。また、当社が大規模リニューアル、さらにその後のオアシス21の管理を担っていくためには、中長期的な視野で業務に携わることのできる人材の確保・育成が求められています。

## 4 経営戦略方針

当社の設立の趣旨を再確認し、経営戦略方針を以下のように設定します。

「栄公園振興株式会社は、オアシス21の管理運営を通じて栄地区の賑わいを創出し、名古屋の都心の活性化に貢献します。」

## 5 経営戦略目標

現状と課題及び経営戦略方針を踏まえ、四つの視点から経営戦略目標を設定します。

### (1) 視点1「発信・発見」

目標A オアシス21ならではの店舗・公園・イベントの魅力を高め、発信します

目標B 訪れるたびに何かが見つかる期待（来たい）感のある空間を提供します

### (2) 視点2「安心・安全」

目標C 新型コロナウイルスや防災・減災などの危機管理対策を的確に進めます

目標D サステイナブルな視点をもって施設を管理運営します

### (3) 視点3「共創・協奏」

目標E 名古屋市との共同により行政課題の解決や公共貢献に取り組みます

目標F 近隣施設や地域団体と連携し、栄地区のまちづくりを推進します

### (4) 視点4「経営健全化と未来への投資」

目標G 経営の健全化を図るとともに大規模リニューアルの準備を進めます

目標H 中長期的視野を備えた人材の確保・育成を図ります

## 6 主な取り組みと成果指標

視点	経営戦略目標	主な取り組み	成果指標【目標値】
発信・発見	A オアシス21ならではの店舗・公園・イベントの魅力を高め、発信します	ホームページ・SNSによる情報発信	ホームページのアクセス件数 【年間210万件】
	B 訪れるたびに何かが見つかる期待（来たい）感のある空間を提供します	集客力のあるイベントの開催	オアシス21来場者数 【年間1,300万人】
安心・安全	C 新型コロナウイルスや防災・減災などの危機管理対策を的確に進めます	感染対策、防災・減災対策の実施	防災訓練などの実施 【年4回】
	D サステナブルな視点をもって施設を管理運営します	中長期保全計画に基づく施設管理	中長期保全計画の着実な実行 【計画の実行】
共創・協奏	E 名古屋市との共同により行政課題の解決や公共貢献に取り組みます	地産地消やSDGsの達成に向けた取り組み	SDGsのコンセプトを踏まえたイベントの開催 【年12回】
	F 近隣施設や地域団体と連携し、栄地区のまちづくりを推進します	近隣施設・地域団体と一体となった連携・交流活動の推進	久屋大通発展会などの活動への参加 【年15回】
経営健全化と未来への投資	G 経営の健全化を図るとともに大規模リニューアルの準備を進めます	大規模リニューアルへの投資に備えた経営の健全化	リニューアルに必要な資金の確保 【計画期間累計 経常利益5,000万円】
	H 中長期的視野を備えた人材の確保・育成を図ります	社員の経営参画意識の向上	全社員が参画する経営会議の開催 【年24回】

## 7 進捗管理

経営戦略計画を実効性あるものとするため、年度ごとに成果指標の達成度を評価するとともに、未達成の場合にはその原因の分析及び達成のために必要な対処法の検討を行い、進捗管理を着実に実施していきます。